

本時のねらい

乗法九九を総合的に活用して、ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、説明することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ムーブノートに3枚のアレイ図を貼り付け活用することで、さまざまな考え方を容易に表すことができる。
- ・それぞれの考え方を「ひろば」に送ることで、全員で共有し、自分の考えと比較し考えを深めることができる。
- ・全員の進捗を確認することで、支援の必要な児童に適切に対応できる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook
- ・ミライシード（ムーブノート）
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	1 問題をとらえ、図を見て見通しを持つ。 ・チョコレートの数はどうしたら求められそうか考える。	
展開 (30分)	2 ●の数を求める方法を考える。 ・1つのアレイ図を○で囲んだり、数を書き込み、式に表したりすることができたら、「ひろば」に送り、違う考え方に取り組ませる。 ・「ひろば」に出ている他者の意見を参考にして、考える。 3 考えを話し合い、検討する。 ・友だちの図を見て、どんな式になるか話し合う。 ・教科書にある考え方について話し合う。 ・りくさんの式を見て、どんな図をかいたか話し合う。 ・あみさんの図を見て、式を考える。 ・はるとさんの図と式を見てはるとさんの考えを発表する。	・ムーブノートを活用し、いろいろな求め方を考えさせるため3枚のアレイ図を配信する。 ・アレイ図を活用して、図の●を線で囲んだり、数字を書いたりして、式と関連づけ、表現させる。 ・アレイ図を活用することにより、乗法が用いられる場面を捉えやすくなり、児童が式を表したり、式を読み取ったりしやすくなる。 ・「ひろば」に出ている他者の図を即座に共有し、参考にすることで、自分の考えの見通しを立てたり深めたりすることができる。
まとめ (10分)	4 話し合いを振り返り、まとめる。 ・他の人の考えを知った後に考えたことを振り返りに書く。 ・友だちの考えのよいところを見つける。 ・今日の学習でどんなことがわかったか振り返る。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: ムーブノートを使って考えをまとめている様子

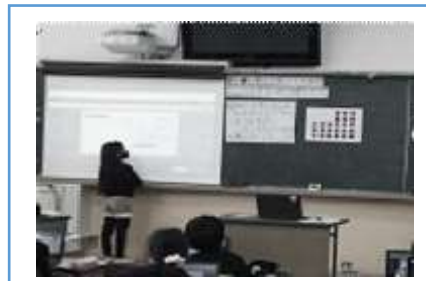


写真2: 電子黒板を使って考えを発表している様子

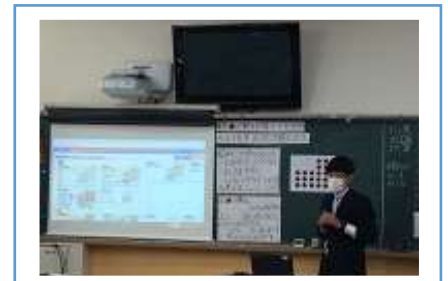


写真3: 全員の考えを「ひろば」で共有している様子

児童生徒の反応や変容

- ・考えが浮かばない子に対してのヒントを与える役割を「ひろば」が担ってくれるため、児童が考えることをやめる場面が少なくなった。
- ・配付された図に書き込むことで、「同じ式でも分け方が異なる」などといった、考えの違いも細かく明確に共有できるようになった。
- ・図へ書き込んでみてもすぐに消すことができるので、書き込んで試行錯誤することに積極的に取り組むようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ムーブノートを使うことにより、全員の考えを細かい部分まで共有できるようになったことは大きな利点である。ただ、電子黒板を用いて共有するため、それまでに出た考えを残すことができないという短所も見つかった。板書と電子黒板を上手に使い分けて、授業を進めていくことが大切であると感じた。